

日本の命運を左右する2019参院選

比例代表での日本共産党躍進と石垣のりこ統一候補の勝利で安倍政権に審判を下し、連続する地方選勝利の土台を築こう!



毎月25日 月1回発行 定価 100円 発行所 新みやぎ社 日本共産党宮城県委員会 機関紙発行所 仙台市青葉区一番町一丁目12-25 電話(022)267-1511 http://www.jpc-miyagi.net/

- 日本共産党各地区委員会 仙台西地区委員会 (022) 225-2920 仙台東地区委員会 (022) 253-7471 塩釜地区委員会 (022) 364-3222 東部地区委員会 (0225) 22-6335 仙南地区委員会 (0223) 22-4036 北部地区委員会 (0229) 22-1252

参院選宮城県事務所びらき 熱気あふれる! 15日 ふなやま由美比例候補が力強く決意

日本共産党宮城県委員会は15日、仙台市の同委員会内で、参院選宮城県事務所開きを行いました。強い雨が降り続く中、2時間前に白石市から駆けつけた後援会員や、「ふなやまさんに」とカラフルな千羽鶴の飾りを届け、くれた若林区の市民、県議・市議、多くのテレビ局や新聞記者など、会場は約60人の参加者でいっぱいになり、途中からエアコンをつけるほどの熱気に包まれました。



あいさつに立った中島康博県委員長は、「比例は県内で14万票以上で党の躍進をめざし、選挙区は5項目の政策協定で合意した石垣のりこ候補を押し上げるために全力を尽くす」と訴え、



15日事務所開き 左から中島氏、高橋氏、ふなやま氏

県後援会の佐々木政子副会長があいさつし、労働者、業者、青年など各後援会代表が決意を表明しました。ふなやま由美比例候補は、年金11万円では暮らせないという夫婦から生活相談があったと紹介し、年金を減ら



1日「市民連合@みやぎ」集会で、連帯してアピール

「市民連合@みやぎ」結成 石垣のりこ統一候補と政策協定 1日

「市民と野党の共闘で政治を変える市民連合みやぎ」が1日に結成され、参院選勝利をめざす決起集会が仙台市内で開かれました。宮城選挙区野党統一候補の石垣のりこ氏(44)と政策協定を結び、会場いっぱい約250人が熱い声援を送りました。



ふなやま氏、石垣氏に大きな声援

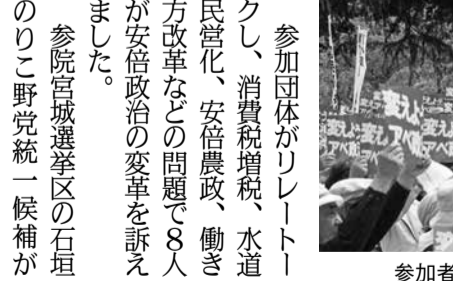
鹿野文永共同代表は、「野党共闘が実現し、希望の輪が広がるスタートの日です。意思を結集し、

共産党と立憲民主、石垣氏が5項目の政策合意を推し、当選のために全力をつくすと表明しました。政策合意は、①安倍政権を打倒し、9条改憲阻止、安倍法制の廃止に全力を尽くす②消費増税を中止し、社会保障の拡大を進める③第一次産業を守り、内需主導の経済へ転換④原発再稼働に反対し、国民生活を向上させる⑤沖繩の米軍辺野古新基地建設に反対する⑥の5項目。今回の政策合意は、ふなやま候補が訴えてきた公約と一致するものです。ふなやま氏は、この公約実現をめざして、参院比例候補として引き続き奮闘します。



9日集会で訴える元山氏

呼びかけ人を代表して写真家の後藤東陽氏があいさつ。沖繩県「辺野古県民投票の会」の元山仁士郎代表が、沖繩の民意が無視され多くの基地があり続ける現状を憤り、「日本中のみなさんに聞きたい」と訴えました。「憲法九条を守る首長の会」の川井貞一会長と鹿野文永副会長が、全国の会結成への取り組みを報告し、「女川原発再稼働の是非をみんなで決める会」の多々良哲代表は、「民意を受けとめ、実現する機会をつくらう」と呼びかけました。



参加者全員で力強いアピール

参加団体がリレートークし、消費税増税、水道民営化、安倍農政、働き方改革などの問題で8人が安倍政治の改革を訴えました。参院宮城選挙区の石垣のりこ野党統一候補が代表が応援に駆け付けました。政策協定は、全国の市民連合の協定をベースに、震災復興推進や水道民営化反対、家族農業を守るなど、県としての課題を加えた14項目の協定です。(裏面に協定の全文掲載)

6・9県民大集会 「変えよう!安倍政治、ストップ改憲発議」 沖繩・元山仁士郎氏、野党4党が連帯あいさつ 「みなさんの声を国会に届けるためにがんばる」と決意を語り、日本共産党の中嶋廉県議をはじめ、立憲民主党、国民民主党、社民党の代表が連帯あいさつしました。

参院選・比例代表で850万票以上を実現し、7議席以上を何としても!

# 日本共産党をのばせば、政治は必ず変わります

「市民連合@みやぎ」が野党統一候補・石垣のりこ氏と結んだ政策協定の全文を紹介します

## 市民と野党の共闘で政治を変える市民連合みやぎ 政策要望書

来る参議院選挙において、以下の政策を掲げ、その実現に努めるよう要望します。

政治を変える!今、ここから 誰もが大切にされる政治へ

- ① 安倍政権が進めようとしている憲法「改定」とりわけ第9条「改定」に反対し、改憲発議そのものをさせないために全力を尽くします。また膨張する防衛予算、防衛装備については、憲法9条の理念に照らし、大幅に抑制します。
- ② 安保法制、共謀罪法など安倍政権が成立させた立憲主義に反する諸法律を廃止します。
- ③ 2019年10月に予定されている消費税率引き上げを中止し、現状の所得、資産、法人の各分野における不公平税制の是正を図ります。
- ④ 福島第一原発事故の検証・実効性ある避難計画の策定・県民投票による県民の意向確認のないままの女川原発再稼働を認めません。再生可能エネルギーを中心とした新しいエネルギー政策を確立し、原発ゼロ社会を目指します。
- ⑤ 沖縄県名護市辺野古における新基地建設・埋め立て工事を直ちに中止し、自然環境の回復を図ります。普天間基地の早期返還を実現し、撤去を進めます。
- ⑥ 日米地位協定を改定し、沖縄県民の人権を守ります。
- ⑦ 3.11から8年。国が最後まで、東日本大震災の被災者の生活と生業の再建と被災地の復興に責任を果たすことを求めます。東日本大震災の痛苦の教訓を生かし、被災者支援制度の抜本的な強化を図ります。
- ⑧ 子どもの貧困、教育格差の是正のために、保育士の待遇改善、潜在的待機児童の解消、高校授業料の完全無償化、給付型奨学金制度の拡充、高額な大学学費の改善などの子育て施策・教育施策を進めます。
- ⑨ 若者をはじめ働く人たちが希望の持てる将来像を描けるよう、最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ(1500円の実現を目指す)、8時間働けば暮らせるルールの確立、非正規労働者に対する待遇差別の禁止などの施策を進め、貧困・格差の解消を目指します。
- ⑩ 高齢者をはじめあらゆる世代のセーフティネット強化のために、国民健康保険料の軽減、医療費自己負担の軽減、介護・福祉労働者の労働条件の改善、医師・看護師の偏在解消等による地域医療の拡充、安心して暮らせる社会保障制度の確立を進めます。
- ⑪ 安全安心な食の生産とともに、水資源や景観・自然環境の保全、防災機能などの農林水産業の多面的な価値を認め、持続的安定的な発展を図ります。種子法を復活し、家族農業を守り担い手を育てる施策を進めます。
- ⑫ 多様性を認め合い共生する社会を目指し、LGBTsに対する差別解消施策、日本で暮らす外国人の権利保障、障がい者の教育・雇用・生活の保障を前進させます。女性に対する雇用差別や賃金格差を撤廃し、選択的夫婦別姓、議員男女同数化(パリテ)を実現します。
- ⑬ 国民の知る権利を守るために、放送事業者の監督を独立行政委員会が行うなど法制度を整備し、報道の自由と公正確保します。
- ⑭ 森友学園・加計学園及び南スーダン日報隠蔽の疑惑を徹底究明します。毎月勤労統計調査の虚偽など、行政における情報操作・捏造の全体像を究明するとともに、高度プロフェッショナル制度など虚偽のデータに基づいて作られた法律を廃止します。

2019年6月1日

日本共産党宮城県委員会と立憲民主党県連、石垣のりこ候補が5月31日に調印した政策合意の全文を紹介します。

## 覚書

日本共産党宮城県委員会と立憲民主党宮城県連合、参議院議員選挙予定候補者・石垣のりこ氏は、第25回参議院議員選挙に関して、右記の政策課題について合意する。

協定の締結に基づき、日本共産党宮城県委員会は、宮城選挙区において石垣のりこ氏の当選に向けて全力を尽くす。

立憲民主党宮城県連合、石垣のりこ氏は右記項目の実現にむけ全力を上げる。

なお、本覚書は3通作成し、日本共産党宮城県委員会、立憲民主党宮城県連合、石垣のりこ氏が署名捺印し、それぞれ一通ずつ保管する。

## 記

1. 安倍政権の打倒、安倍内閣による憲法改悪に反対し、9条改憲阻止、安保法制の廃止に全力を上げます。
2. 消費税増税を中止し、不公平税制の抜本改革で社会保障の拡大を進めます。
3. 第一次産業を守り、輸出主導から内需主導の経済への転換で国民生活の向上を図ります。
4. 原発再稼働に反対するとともに、原発ゼロを目指し再生可能エネルギーの促進を図ります。
5. 民意を踏みにじって進められる沖縄の米軍辺野古新基地建設に反対します。

2019年5月31日

日本共産党宮城県委員会 中島 康博  
立憲民主党宮城県連合 岡本あき子  
参議院議員選挙予定候補者 石垣のりこ



9日 石巻の演説会で、左から岩瀨氏、三浦氏、松山氏、鹿野氏

9日、石巻市で岩瀨友参院議員を迎えて党演説会が開催されました。

三浦一敏県議が「日本共産党を大きく伸ばして安倍

政治とサヨナラしましよ」と訴えると参加者の拍手で会場が湧きたちました。

## 石巻 岩瀨友参院議員とふなやま候補

「三つの提案」について詳しく語り、一人ひとりが政策を訴え支持を上げる「担い手」づくりに頑張ろうと呼びかけました。

また、鹿野文永元鹿島台町長が「97年もぶれずに筋を通した日本共産党だからこそできることがあり、党員でもない自分がこうしてみなさんの前で訴えている」と話しました。

紙氏は安倍農政について、TPP以上は譲歩しないとした安倍政権が、5月の日米首脳会談でそれを反故にした可能性があると指摘。農地や販売農家が減るも「共産党は家族農業を支え、将来に希望の持てる農業へ転換させます」と語ると大きな拍手が起りました。

紙氏は安倍農政について、TPP以上は譲歩しないとした安倍政権が、5月の日米首脳会談でそれを反故にした可能性があると指摘。農地や販売農家が減るも「共産党は家族農業を支え、将来に希望の持てる農業へ転換させます」と語ると大きな拍手が起りました。

消費税10%増税を批判した紙氏が、OECD加盟諸国で唯一、日本の実質賃金がマイナスだと紹介すると、参加者から驚きの声が上がりました。

新たに比例候補になったふなやま氏は、青森県沖に墜落したF35戦闘機や県内でのオスプレイの

## 多賀城・塩竈・大崎 紙参院議員とふなやま候補

日本共産党の紙智子参院議員とふなやま美参院比例候補は8日、塩竈、多賀城、大崎の各市で開かれた党演説会で、農業や暮らしなど党の政策を語り、参院選、地方選での党の躍進を訴えました。

紙智子参院議員は、国会で安倍首相に農業の生産基盤の

弱体化対策を迫ったが答えないと批判し、家族農業を守るために全力をあげる決意を語りました。

「8時間働けばふつうに暮らせる社会」など、共産党の「三つの提案」や消費税に頼らない財源などの政策を示し、党議員が増えれば政治が変わると強調。「選挙に勝つて、安倍暴走政治を止めよう」と呼びかけました。

## 岩沼 紙智子参院議員とふなやま美比例候補

日本共産党仙南地区委員会が主催する党演説会が5月24日、岩沼市民会館で開かれ、会場いっぱい約200人の市民が参加。紙智子参院議員と、ふなやま由美参院候補があいさつし、会場は熱気に包まれました。

演説会では、山田周伸巨理町長のメッセージが紹介され、来年1月まで続く地方議員選挙の候補者が紹介され、代表して7月21投票の市議選をたたかう佐藤龍彦白石市議が決意表明しました。

県内各地で党演説会開催  
くらしに希望を——「3つの提案」に大きな手ごたえ